



各 位

平成 18年 11月 6日

上場会社名 大陽日酸株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松枝 寛祐  
(コード番号 4091 東証・大証・名証)  
問い合わせ先 広報部長 高橋 良一  
(TEL 03 - 5788 - 8015)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年 3月期中間業績予想および平成19年 3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 平成19年 3月期中間業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 9月 30日)

##### (1) 中間(連結)業績予想数値の修正

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成18年 5月17日 発表)	210,000	14,000	7,000
今回修正予想(B)	215,000	18,800	9,500
増減額(B - A)	5,000	4,800	2,500
増減率	2.4	34.3	35.7
前期(平成 18年 3月期中間)実績	185,444	12,265	6,424

##### (2) 中間(単独)業績予想数値の修正

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成18年 5月17日 発表)	118,000	8,500	4,500
今回修正予想(B)	122,000	10,500	5,400
増減額(B - A)	4,000	2,000	900
増減率	3.4	23.5	20.0
前期(平成 18年 3月期中間)実績	109,708	7,190	4,062

##### (3) 修正の理由

単独については、エレクトロニクス産業向けに特殊ガスの好調な出荷がつづく一方、関連工事も当初見込より売上高が増加しました。また、プラントの大型工事についても順調に工事が進捗し、原価率も当初見込より改善しました。そうした増収・原価改善効果により、経常利益・中間純利益は当初予想を上回ることになりました。

連結についても、米国子会社マチソン・トライガスの収益が特殊ガスの出荷増などで伸びたことなどにより、経常利益・中間純利益は当初予想を上回ることになりました。

2.平成19年3月期通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(1)通期(連結)業績予想数値の修正

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月17日発表)	430,000	30,000	16,000
今回修正予想(B)	440,000	34,500	18,500
増減額(B - A)	10,000	4,500	2,500
増減率	2.3	15.0	15.6
前期(平成18年3月期)実績	397,308	27,115	14,444

(2)通期(単独)業績予想数値の修正

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年5月17日発表)	245,000	18,500	10,000
今回修正予想(B)	248,000	20,700	12,000
増減額(B - A)	3,000	2,200	2,000
増減率	1.2	11.9	20.0
前期(平成18年3月期)実績	235,400	17,060	9,439

(3)修正の理由

当下期から、8月に買収した米国リンウェルド社の業績が加わりますが、原材料価格の上昇など減益要因も予想されるため、当下期については、当初見込み程度の利益を予想しております。その結果、修正後の通期予想値は、当初の通期予想値に今回の中間修正分を加えた水準となっております。

以上